

## 実施要綱の英文化の必要性

実施要綱（臨床研究計画書）が完成したら、英文化しておくことを強くお勧めします。

- 一流誌では英文の臨床研究計画書の提出を求められます。
  - Reviewer は論文の内容が当初の計画通りに遂行されたかを確認します。
  - 特に、必要症例数の根拠、検定の方法の論文に書かれていない詳細が検討されます。
  - 英文の計画書を求められてから作成するには時間的余裕がありません。
- 英文化しておくことで成果を論文化する時に役立ちます。
  - 邦文の計画書の全文を英文化する必要は無く、論文化を意識して作成すると良いでしょう。
    - ① 研究題名
    - ② 研究の背景
    - ③ 研究方法など必要最低限で構いません。
- 一流誌を目指さない研究でも、研究の概要だけは英文化しておきましょう。
  - 英文での臨床研究の登録に役に立ちます。
  - 国際学会の抄録作成に役立ちます。
- 英文化することで再度研究全体を見直すことが可能になります。
- 若い先生に英文化を依頼することで論文執筆の訓練になります。